

意見提出者	個人
1. 項目	医療・福祉分野における個人情報の取り扱いに関する規制ならびに保護の在り方
2. 既存の制度・規制等によってICT利活用が阻害されている事例・状況	<p>我々の領域である医療分野において、地域の医療資源を効率的に活用するため、患者の体力、時間、金銭的コストの負担軽減のためにも、ブロードバンド回線やICTを活用した遠隔診療は迅速に推進されるべき課題だと思われま。しかし実際は、昨今の個人情報流出の事例などから回線上に患者の個人情報をのせる事への医療機関の責任や医療者の抵抗感等からその利用範囲は極めて限定的です。</p> <p>当院は病院内に光ファイバー網を引き詰めたICTモデル病院であり、院内発生する全ての情報を瞬時に共有化することが可能となっています。ICTの運用実績含め、今までに世界40ヵ国以上300組以上の見学者が当院を訪れ、フィンランドのノキアやイギリス等から世界標準の動きに合わせて技術協力をしてほしいという依頼を受けております。しかし、国内の新規事業に対してはなかなか踏み出せないでいる現状があり、大変残念な状況にあるように思えます。</p>
3. ICT利活用を阻害する制度・規制等の根拠	個人情報保護法
4. ICT利活用を阻害する制度・規制等の見直しの方向性についての提案	<p>上記の例からもわかりますように、国内に今は世界より進んだ十分なICTの技術があります。しかし、それを規制ばかりで保護がなく、そのまま放置していると、諸外国に追い抜かれていくことになってしまいかねません。問題は料金や技術力にあるのではなく、新しい技術・事業に対する規制や保護の問題のように思われます。前述の遠隔診療に関しても、病院の責任の範囲を明確にし、ここまでのことを守れば病院に非がないとされることが明らかになれば、積極的に参加しようという医療機関は増えてくるように思えます。これは患者ひいては全国民に与える恩恵としては大きなものがあるように思えます。</p> <p>欧米では、医療を取り巻くICTの標準化とその結果生み出される標準的な電子カルテ等の製品化に向けて明確なビジョンと行動計画が立てられています。日本においてもICTの利活用は必要不可欠であり、それに対する十分な技術力も持ち合わせていると思われま。ので、人材育成面や環境整備の面からもトータルにICTの活用を後押しするような支援・政策を切望しております。特に諸外国と比較して利用が進んでいない医療、行政、教育等の分野において、ICTの利活用を促進するための省庁横断的な取り組みや、既存の規制等を見直す取り組みが必要と考えま。そして、それこそが、国民生活におけるICTの利便性向上を具体的な形で見えるようにする政策の遂行であり、現在の最重要課題と考えま。</p>